

チーム医療

M.D.アンダーソンがんセンター専門家による「チームオンコロジー・ワークショップ」が開催

2009年11月13～15日の3日間、世界有数のがん専門病院である米国・M.D.アンダーソンがんセンターのチーム医療のスタッフ12名が来日し、日本のがん医療に携わる医師、看護師、薬剤師を対象とした「チームオンコロジー・ワークショップ」が開催された。

このワークショップは、テキサス大学M.D.アンダーソンがんセンター教授で腫瘍内科医として活躍する上野直人氏が発足させた「ジャパン チームオンコロジー プログラム (J-TOP)」が、2002年より年1回開催しているものだ。

今回で8回目となるワークショップには、全国130病院から220名の応募があり、選抜された60名(医師、看護師、薬剤師各20名)が参加した。

応募にあたっては、がん領域における3年以上の臨床経験が必要で、実際にチームを結成する際にリーダーとなれる人材の育成を目的としているため、がん医療に対する知識や英語力より小論文を重視し、チーム医療にかける情熱の強い人物を選考している。

グループで オンコロジープログラムを 作成：チーム医療を体得

3日間のワークショップでは、がんのチーム医療における医師、看護師、薬剤師に期待される役割やEBM、リーダーシップ、コミュニケーションスキルを学ぶ。さらに参加者は4グループに分かれ、臨床試験や化学療法の副作用対策などをテーマに実践的課題について医師、看護師、薬剤師が協働しながら患者中心のがん医療「オンコロジー

プログラム」を作成し、チーム医療の実際を体得する。

まる1日かけて作成したオンコロジープログラムは、最終日に参加者全員の前で発表され、同時に各職種から2名ずつ優秀者が選ばれる。優秀者は、M.D.アンダーソンがんセンターで5週間のチーム医療プログラムを受講できる。また、帰国後はJ-TOPのセミナーなどでチューターとして活躍している。

*

同ワークショップを受講した医療従事者は480名。そのうち看護師は160名で、事務局によれば専門看護師や認定看護師に限らず、スタッフナースも多いという。看護師の受講料は3日間で1万5千円。次回のワークショップ開催は2010年11月を予定している。

また、2010年2月20～21日には名古屋で日本人チューターによる「第8回みんなで学ぼうチームオンコロジー」(定員36名・先着申込順)のセミナーが開催される。



2日目のランチョンセミナーでは、M.D.アンダーソンがんセンターの研修(2009年4月実施)を受けたメンバーによる報告会があり、参加者の意欲も向上した

がん領域のチーム医療に関心のあるナースは、チームオンコロジー.Comのウェブサイトもぜひ一度、チェックしたいものだ。(文:渡辺千鶴/医療ライター)

<問い合わせ先>

ジャパン チームオンコロジー プログラム (J-TOP)事務局

〒105-0022 東京都港区海岸1-7-8

メッドコア・アソシエイツ株式会社

E-mail:secretariat@teamoncology.com

com

※J-TOPが開催するワークショップ、セミナーへの参加は、チームオンコロジー.Comの会員(無料)であることが原則。

●チームオンコロジー.Comウェブサイト
<http://www.teamoncology.com>



グループワーク形式でオンコロジープログラムを作成する参加者たち。EBMに基づき、患者の満足度を向上させる治療・ケアの選択について徹底的に議論する